

多職種協働で支援する自立支援

当たり前のことがなぜできないのか？なぜ違う方向を向いて仕事をしているのか？

RX組 青山幸広

老人保健施設の役割とは

1. 生活機能の維持、向上をめざし総合的に援助

医療系職種

医師・看護職員・リハビリ職・管理栄養士・栄養士

福祉系職種

介護職員・支援相談員・介護支援専門員

緑の下の職種

事務職員・厨房職員・営繕職員・掃除員など

※ 利用者の立場・想像力が大切！創造的なケアを実現するためのチームづくり

2. 自立した在宅生活が続けられるように支援する

自立支援のための3つの共有する事

1) 自分でできる環境づくりを共有

- ① 洗面
- ② トイレ
- ③ お風呂
- ④ 食堂

2) 脳の可塑化を促す生理的動作を生かした介護技術

- ① 寝返りの3原則
- ② 立ち上がりの3原則
- ③ 移乗方法の共有

3) 生きるを支える今後の目標を共有（ケアプランに生かす）

したい事・やりたい事・してみたい事を共有したいが、
根本的に解決しなくてはならないことがある

「仕事がきつい・嫌だと感じる主な理由」

- ① 他の職種との見解の相違
- ② スキルを十分に活かさない
- ③ 慢性的な職員の人手不足

※ 施設の理念・行動指針を理解し実行する事で見えてくる

※ 課題は見えているが対策をとらない現場が多い